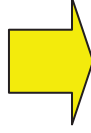


道路整備に伴う効果は、多岐多様に渡る
十分な精度で計測可能でかつ金銭表現が可能な3項目が対象



費用対効果項目

- ① 走行時間短縮便益
- ② 走行経費減少便益
- ③ 交通事故減少便益

費用対効果に含まれない項目

- ① 災害時・平時の安全安心の確保
- ② 観光支援など地域の活性化
- ③ 円滑な交通体系の確保
- ④ 沿道環境など地域の環境改善

費用対効果に含まれない効果（防災時の効果）

資料3-8

緊急輸送道路である加古川小野線のバイパス

広域防災拠点や災害拠点病院へのアクセス強化及び浸水対策等、災害に強い道路の構築



県の渋滞交差点解消プログラムの概要

1. 目的

- ① 渋滞対策を計画的かつ効率的に実施するため、**プログラムを策定**
- ② 道路改良や右折車線設置等の**対策を重点的に実施**

2. プログラムの目標と実施状況

- | | | | | |
|-------|-----------|------|---------------|----------------|
| ① 第1期 | 平成14～20年度 | (目標) | 渋滞交差点223箇所 | の半減 |
| | | (実績) | 半減を達成 | (112箇所)で解消・緩和) |
| ② 第2期 | 平成21～25年度 | (目標) | 渋滞交差点126箇所 | の半減 |
| | | (実績) | 半減達成予定 | |

※H24末で52箇所で解消・緩和(約83%)

3. 渋滞交差点の定義

- ① 信号交差点で、信号待ち3回以上
- ② 信号がない交差点で、通過に2分以上
- ③ 渋滞の改善要望が強い箇所